



陽光

(ひかり)

令和6年11月5日(火)
札幌市立光陽中学校
学校便り 第6号
発行者：荒木 信幸

学校教育目標 未来を築く生徒の豊かな人間性の育成をめざして

①高い知性を育てる ②豊かな心情を育てる ③健康な身体を育てる ④ねばり強い実践力を育てる

「文部科学省 全国学力・学習状況調査」の結果について

向寒の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、4月18日(木)に「全国学力・学習状況調査」が全国一斉に行われ、中学校においては3年生が調査の対象となりました。この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持と向上の観点から、①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析をすることにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること、③それらの取組を通して教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、を目的に実施されたものです。その調査結果が7月29日に公表され、これをうけて本校では、3年生一人一人に個人票を配付いたしました。

つきましては、本校生徒の学習状況や調査結果から考えられる課題、改善の方向等につきまして、全学年の保護者の皆さまにお知らせいたします。ぜひ、ご覧いただき、学習状況のとらえとしてお役立ていただきますようお願いいたします。

なお、本校では学校間の序列化や過度な競争を招かぬよう配慮する意味から、本市の他の学校と同様に平均正答率などの数値結果の公表はいたしませんのでご了解ください。

また、本調査に関するお問い合わせにつきましては、本校教頭(763-0066)までご連絡くださるようお願いいたします。

【調査の内容】

(1) 教科に関する調査

- ①身につけておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【記号の見方】

- △全国平均を3ポイント以上、上回っている。
- ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている(+3ポイント以内)
- ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている(-3ポイント以内)
- ▼全国平均を3ポイント以上、下回っている。



【国語科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【内容】</p> <p>「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「書くこと」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「読むこと」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>【評価の観点】</p> <p>「知識・技能」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「思考・判断・表現」 ▼全国平均を下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。・短歌の表現の技法について理解すること。・文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えること。・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	<ul style="list-style-type: none">・事実に即して書かれた文章を読み取る活動の充実。国語科を中心に行うが、他の教科においても取り組む。・目的や場面、相手に応じた語句を選んで用いることや書くことなどの学習活動の充実。・詩歌に親しみ、豊かな表現技法を学ぶ学習活動の充実。

【数学科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>「数と式」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「図形」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「関数」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「データの活用」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>【評価の観点】</p> <p>「知識・技能」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「思考・判断・表現」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・与えられたデータから最頻値を求めること。・回転移動について理解すること。・連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すこと。・事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと。	<ul style="list-style-type: none">・日常生活などの具体的な問題場面から、必要な情報を的確に読み取り、筋道を立てて考えたり説明したりする学習活動の充実。・基礎、基本を再確認し、習熟するための練習の工夫。・平面図形や立体図形について、基礎的、基本的な知識を身に付ける学習活動の充実。

<生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査>

すべての質問について、肯定的な回答を合計し、全国平均と比較した結果について、特徴的なものをお知らせします。

(1) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が高いもの

- ・数学の授業の内容はよく分かりますか
- ・数学の勉強は好きですか
- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか
- ・1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか
- ・国語の勉強は好きですか

(2) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が低いもの

- ・理科の勉強は好きですか
- ・1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- ・1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
- ・1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- ・1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
- ・1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と協力しながら学習を進めることができる
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

上記より、本校では国語科や数学科の授業に意欲的に取り組み、内容をしっかりと理解できていると考える生徒が多いことが伺えます。しかしながら、本調査における結果が示すように、国語科、数学科ともにすべての内容や領域、観点の正答率が高いとは言えないことから、自分の学習の成果を正しく評価できている生徒はあまり多くはないようです。

また、理科が苦手であると考えたり、1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットを活用した経験がないと考えたりする生徒が多いことが伺えます。今後、本校の授業の在り方について改善すべき点であるものと捉えています。

ここに挙げたものは、あくまでも生徒の一面にすぎませんが、学校では生徒のよさをさらに伸ばし、課題の克服に向けて、教育課程の充実や授業の工夫改善に努めていきたいと思っております。